

都市空間政策特論第3（担当：羽藤英二）

概要

この講義では、移動シミュレーション、空間構成シミュレーション、Choice Architecture、景観分析を題材に、モビリティデザインの基礎を学び、移動空間計画および移動情報サービスを設計するという課題に取り組む中で、都市を情報という側面から切り取り、よりよい理解を得ることを目的としています。

第一回「モビリティデザインとは何か」：7/5

都市におけるモビリティを移動空間の設計、プログラムのデザイン、マネジメントの関連からのどのようにして設計すべきかについて、現実の敷地を対象に定量的なデータを交えながら、学生と討議を行う。

1. 都市移動設計論および課題説明（東京大学 羽藤英二）1830-1950
2. 対象敷地とデータ/モデル概要：（東京大学 羽藤英二）1955-2115

第二回「シミュレーションをまちづくりに生かす」：7/12

まちづくりの中で活用されつつあるシミュレーション技術について、大規模小売店の出店や観光社会実験の現場で用いられている交通シミュレーションと、空間設計の現場で用いられている空間構成シミュレーションを題材に、シミュレーション技術の利用シーンとまちづくりへの活用について討議を行いたい。

3. まちづくりのための交通シミュレーションと社会実験（埼玉大学 坂本邦宏）1830-1950
4. 空間構成シミュレーション（スペースシンタックスジャパン 高松誠治）1955-2115

第三回「対話を科学する、交通を科学する」：7/19

モビリティデザインにおけるワークショップをどのように可視化すべきか、都市の中の交通行動をどのように科学的に理解しサービスを設計すべきか、具体的な事例を交えながら、その最先端を、山梨大学の佐々木氏、日産自動車の原氏から概説していただく。

5. ワークショップの科学（山梨大学 佐々木邦明）1830-1950
6. モビリティサービスの今（日産自動車 原加代子）1955-2115

第四回「移動空間を読む、モビリティデザインを提案する」：7/26

「京都」を題材にとり、景域のなりたちとその見方について第一人者である京都大学の川崎氏から講義をいただき、学生の提案するモビリティデザインについての討議を全体で行う。

7. 景観分析の基礎理論（京都大学 川崎雅史）1830-1950
8. モビリティデザインに関する討議（東京大学 羽藤英二）1955-2115